

全国のローカル線におけるBRT・バス転換の事例一覧

路線名	運営主体	検討開始	運行費 (移管協力金)	J Rによる初期投資等
		正式復旧		
岩泉線 〔茂市⇔岩泉〕 (38.4 km) 【被災路線】	東日本交通 (地元バス事業者)	H24. 3 H26. 4	非公表	・鉄道で使用していたトンネルを一般道化するための県の工事に対してJ R東日本が20億円を拠出
気仙沼・大船渡線 〔盛⇔前谷地〕 (気仙沼線: 72.8 km 大船渡線: 43.7 km) 【被災路線】	J R 東日本 (継続運営) BRT	H23. 3 H27. 12 (大船渡線の復旧合意) H28. 3 (気仙沼線の復旧合意)		・BRT専用道の整備 ・盛駅と気仙沼駅の対面乗り換えの整備 ・バス車両の導入 ・バスロケーションシステムの導入 等
三江線 〔江津⇔三次〕 (108.1 km) 【利用者減】	協議会 〔構成〕 島根県、江津市、川本町、美郷町、邑南町 広島県、三次市、安芸高田市	H28. 10 H30. 3	約8億円 ・運行費10年分 ・一括受入	・バス車両の導入 ・バス停留所の整備 ・ロータリーの整備 等
石勝線夕張支線 〔新夕張⇔夕張〕 (16.1 km) 【利用者減】	夕張市	H28. 8 H31. 4	約7.5億円 ・運行費20年分 ・一括受入	運行費7.5億円の一部を自治体の判断で初期投資に充当 (・バス車両の導入 ・バス待合所の整備 等)
札沼線 〔北海道医療大学⇔新十津川〕 (47.6 km) 【利用者減】	沿線自治体 (当別町、月形町、浦臼町、新十津川町)	H29. 4 R 2. 5	約14.9億円 ・運行費20年分 ・一括受入	・バス停留所の整備 ・パークアンドライド駐車場の拡大 等

路線名	運営主体	検討開始	運行費 (移管協力金)	J Rによる初期投資等
		正式復旧		
日高線 〔鶴川⇔様似〕 (116 km) 【被災路線】	協議会 〔構成〕 平取町、新冠町、 浦河町、日高町、 様似町、えりも町、 新ひだか町	H27. 12 R 3. 4	20.6 億円 ・運行費 18 年分 ・一括受入	・バス車両の導入 ・駅舎の整備（観光情報センターとして活用） ・運転手の休憩所の整備 等
日田彦山線 〔添田⇔日田〕 (40.0 km) 【被災路線】	J R 九州 (継続運営) B R T	H29. 7 R 5. 8		・B R T専用道の整備 ・添田駅の対面乗り換え ・バス車両の導入 ・バス停留所の整備 ・バス待合所の整備 ・バスロケーションシステムの導入
根室線 〔富良野⇔新得〕 (81.7 km) 【被災路線】	沿線自治体 〔富良野市、占冠村、 南富良野町、新得町〕	R 3. 7 R 6. 4	18.1 億円 ・運行費 18 年分 ・3 年間で受入れ	運行費 18.1 億円の一部を自治体の判断で初期投資に充当 〔・バス車両の導入 ・バス停留所の整備 ・バス待合所の整備 等〕
留萌本線 〔深川⇔石狩沼田〕 (14.4 km) 【利用者減】	沿線自治体 〔沼田町、秩父別町、 深川市〕	R 4. 7 R 8. 4	金額非公表 ・運行費 18 年分 ・一括受入	・バス車両の導入 ・バス停留所の整備 ・バスロケーションシステムの導入
津軽線 〔蟹田⇔三厩〕 (28.8 km) 【被災路線】	N P O 法人 〔構成〕 青森県、今別町、 外ヶ浜町、J R	R 5. 1 R 9. 4	33.66 億円 ・運行費 18 年分	・蟹田駅のホーム改良（バス停留所に近接したホームでの電車の発着） ・バス待合所の整備 ・キャッシュレス決済の導入
久留里線 〔久留里⇔上総亀山〕 (9.6 km) 【利用者減】	君津市	R 5. 3 R 9. 4	20 億円 ・運行費 18 年分 ・一括受入	・バス停留所の整備 ・バス待合所の整備 ・駅舎からバス停までの歩道整備 ・ロータリーの整備 ・キャッシュレス決済の導入 等